



2025.3.26

報道関係各位

アストンマーティン ジャパン

## アストンマーティンVANQUISH VOLANTE

### 世界最速のフロントエンジン・コンバーチブル

- カテゴリー史上初のドラマ、パワー、スピードを実現する新しいフラッグシップ・コンバーチブル
- クラス最高水準の 5.2 リッターV12 ツインターボエンジンが最高出力 835PS、最大トルク 1000Nm の性能を発揮
- 最高速度はクラストップの 345km/h (214mph)、0-100km/h (62mph) 加速をわずか 3.4 秒で達成
- 革新的な K フォールドルーフとインテリジェント化した構造補強
- アストンマーティンを象徴するデザインが生み出す圧倒的な存在感と美しさ
- 大幅に改良したシャシーと構造で動的性能を最適化
- Vanquish Volante を含め、Vanquish の総生産台数は年間限定 1000 台以下
- Volante 生産 60 周年を記念するモデル



2025年3月25日（火曜日）、ゲイドン、ウォリックシャー（英国）：

このたび、アストンマーティンの待望の新型モデル、**Vanquish Volante**を発表いたします。アストンマーティン史上、最も速く、最もパワフルなオープントップシリーズの量産モデルであり、**Coupe**モデルと並んで、現在販売中の量産モデルの中でも最速、最強のフロントエンジン車です。これほど優れた性能と、すらりとしたルックスながらも芯のあるフォルムを併せ持つクルマは他にありません。ウルトラ・ラグジュアリーなハイパフォーマンス・スポーツカー市場の頂点に君臨するその立ち位置は唯一無二で、アイコニックな名を冠して60周年を迎えるのを祝うのに、最新モデルの発表ほどふさわしいものはないでしょうか。

アストンマーティンの新型5.2リッターV12エンジンは最高出力**835PS**、最大トルク**1000Nm**、最高速度**345km/h（214mph）**を発揮します。**Coupe**の持つ荒々しいまでのスリルとオープンエア走行で、直感に訴えかける他では得られないドライビング・エクスペリエンスが体感いただけます。

新型**Vanquish Volante**の設計は、人々に愛されてきたコンバーチブルならではのスタイルと感覚に訴える刺激をすべて引き出し、そのデザインに従来の制限や妥協は一切ありません。**Coupe**と変わらぬ美しさを持ち、車体重量の増加は最小限に抑え、素晴らしいデザインを実現した**Vanquish Volante**は、フラッグシップ・モデルにのみ与えられるにふさわしい車名です。

新型**Vanquish Volante**は、60年にわたるモデルの系譜の最高傑作です。アストンマーティンが初めて**Volante**の名を冠したのは**1965年**。この年に**Short Chassis Volante**というモデルを限定台数で製作しました。このクルマは、その先代モデルの**DB5 Volante**と後継モデルの**DB6 Volante**の両方のデザインを取り入れています。完璧なまでに美しいこの車は、その後のアストンマーティン「**Volante**」モデルの方向性を決定づけました。また、最も生産台数の少ないモデルの**1つ**として知られ、1年間の生産台数はわずか**37台**でした。

アストンマーティンの最高経営責任者（**CEO**）であるエイドリアン・ホールマークは、次のように述べています。「アストンマーティンの**Volante**は、**60年**にわたり、エレガントでスポーティなオープンカー・ドライビングの芸術を定義してきました。この哲学を、**Vanquish Volante**は見事なルックスと、現在販売されているどのフロントエンジン車の量産モデルよりもパワフルで卓越した**V12**エンジンを搭載した姿でまったく新しいレベルへと昇華させています。アストンマーティンでは、この伝統を正しく継承していることを誇りに思うと同時に、**Vanquish Volante**が示す前例のないパフォーマンスと同じく、未来にしっかりと目を向けています」

## エンジニアリング

**Vanquish Volante**の決め手は、アストンマーティンの新型ツインターボチャージャーを搭載した**5.2リッターV12**エンジンです。名高いアストンマーティンのウイングをまとった最初の**V12**

エンジンは、2000年モデルのDB7 Vantage CoupeとDB7 Vantage Volanteの両方で搭載。以来25年、アストンマーティンを象徴するV12エンジンの最高出力は426PSから835PSへとほぼ倍増し、同様に最大トルクも543Nmから1000Nmへと向上しています。

Vanquishが搭載する最新のV12エンジンは、わずか2500rpmで最大トルクを発生します。これは先代モデルの必要としたエンジン回転数のちょうど半分で、2500-5000rpmで最大トルク1000Nmを維持しながら、最高速度は345km/h（214mph）に達します。これほど大幅に性能が向上したにもかかわらず、Vanquish Volanteの車両総重量はわずか95kgの増加にとどまりました。パワーウェイトレシオは1トンあたり313hpから416hpに向上しており、まったく新しいレベルの性能に達しています。

パワーは、最適な重量配分を考慮してリアアクスル内に配置したZF製8速ギアボックスが後輪に伝達、Vanquish Coupeと同じ電子制御リアデファレンシャル（E-diff）が組み込まれています。E-diffではフルオープンから100%ロックまで135ミリ秒で移行でき、これまでにない対応域と性能を実現しました。最新の電子制御スタビリティ プログラム（ESP）テクノロジーと組み合わせることで、動的性能が大幅に向上、低中速のコーナリングでの敏捷性が向上すると同時に、オーバーステア時や高速でのレーン変更時の制御も強化されます。動的特性にとって極めて重要な要素であるE-diffは、タイトなコーナーではステアリングの動きに対してより強い旋回で応えて車を「縮め」ながら、高速でカーブを駆け抜けるときには確実な安定性と落ち着きをもたらします。Vanquish Volanteにもスーパーカーレベルのドライビング・ダイナミクスを提供したいという思いと、フラッグシップに求められる上質な乗り心地と軽快な操作性を両立させたいという思いから、アストンマーティンの量産モデルで採用されている洗練されたシャシーシステムの装着のすべてを義務づけました。

アストンマーティンのビークルパフォーマンス・アンド・アトリビューツ担当取締役であるサイモン・ニュートンは、次のように述べています。「Vanquish VolanteがVanquish Coupeと同じクラストップレベルの性能を発揮できるよう、エンジニアリング部門は当初からCoupeとVolanteの両方を同時に開発し、ルーフを取り外した場合の性能への影響に対して妥協をすることなく、Vanquish Coupeの動的性能と個性を維持することができました。ボディ構造の最適化と独自のシャシーチューニングを組み合わせることで、Vanquish VolanteはCoupeと同様に、驚異的な性能と能力だけでなく、ルーフを開けて走るオープンエア・ドライビングという新たな楽しみでも関心の的となるはずです」

もちろん、Vanquish Volanteには重量配分を考慮して設計された独自の特注サスペンションチューニングを施していますが、そのポテンシャルを最大限に引き出す秘訣は、新しいビルシュタインDTXダンパーにあります。このダンパーが、各ドライブモード内で卓越したレベルのホイール制御を可能とし、個々のモード間では従来以上にはるかに大きな差別化も図ることがで

きます。

GTモードでは、Vanquish Volanteは路面からの衝撃を吸収する設定で、最高のグランツーリスモの特徴である、快適な長距離走行を提供します。一方、SportモードとSport+モードでは、新しい動的特性の設定を追加、より俊敏なレスポンスとよりタイトなボディコントロールに段階的に変化させることができます。

また、Vanquish Volanteは、Coupeの最新のトラクションコントロールとスタビリティコントロールシステムを継承し、ドライバーに対する運転支援強化と最大限の安全確保を目的に設計され、Vanquish独自のチューニングを施した新しいESPシステムを搭載しています。システムは段階調節可能なダイナミックコントロールとシームレスに統合、インテリジェントなコントローラーやソフトウェアモデルを使用して最先端のアルゴリズムが最適なグリップレベルを予測しながら急な介入を避けると同時に、車両が不安定になる瞬間にも反応します。事前設定のESPモード（「On」「Track」「Off」「Wet」）があり、すべてのモードはセンターコンソールのESPボタンで選択します。

Vanquish Volanteの圧倒的なパワーを支えるカーボンセラミック・ブレーキ（CCB）システムを標準装備しており、フラッグシップにふさわしい制動力を提供します。重量は従来の鉄製ディスクより27kg軽く、寿命と耐フェード性が向上しています。また、トルク・ベクタリングでブレーキバランスを後方にシフトすることで、コーナー進入時の安定性を高めることができます。

クルマの性能が発揮されるのは、クルマと路面をつなぐタイヤがあっこそです。アストンマーティンのエンジニアは、戦略的タイヤパートナーであるピレリと協力し、Vanquish CoupeとVolante専用の特別設計した新しいピレリP ZERO™を開発しました。これは、Vanquishの厳格な性能目標のもと、サマータイヤ（P ZERO™ PZ4）とウィンタータイヤ（P ZERO™ Winter 2）のいずれにも性能を発揮するよう最適化されたものです。

シャシーとダイナミックシステムを支えるのは接合アルミニウム構造です。ピンポイントで、反応性の高いダイナミクスを実現するため、アンダーボディは剛性を強化する部材によって、従来のフラッグシップ・コンバーチブルに比べ横剛性を75%向上させ、Coupeのボディに相応しい構造性能を維持しています。

両車を同時にデザインすることで、自動車デザイン上の複雑な課題のひとつを達成しました。それは、重量増加を最小限に抑えながらルーフ完全格納型のコンバーチブルを作り上げ、同時に最大限のねじれ剛性を保持し、ルーフを上げた状態でもトノカバーに格納した状態でも、時代を超越したデザインを維持することです。

## デザイン – エクステリア

Vanquish Volanteは、Coupeの持つ現代的なエレガンスさ、引き締まった体躯、広々としたた

たずまい、流れるような曲線を継承しています。F1®にインスパイアされた特徴的なサーモルバーのディテールは、ボンネットのドラマチックな傾斜にも受け継がれ、冷却機能も備えています。ホイールベースを80mm拡大したことによって、Vanquish Volanteのアイコン的なフロントエンジン、キャブ後方の美観を際立たせます。リアに急角度で上昇するカムテールは、まるでリアに浮かんでいるように見えるようなデザインの、「シールド」の上に位置しています。

軽量なKフォールドルーフは14秒で開き、16秒で閉じることができ、時速50km/h（31マイル）以下であれば、センターコンソールのエレガントなメタルスイッチで開閉操作が可能です。さらに、ルーフの開閉は半径2メートル以内であればスマートキーで遠隔操作が可能です\*。特筆すべきは、Vanquish Coupeに直接匹敵するレベルの断熱性です。格納時のスタック高さはわずか260mmとクラストップレベルであり、遮音性を高めたファブリックルーフは、シームレスに流れるボディのラインを損なうことなく、シート後方のトノー下に格納することができます。Coupeと同様に、Vanquish Volanteもフロントバンパー、フェンダー、グリルのデザインを一新し、より主張の強いデザイン特性と高いロード・プレゼンスを実現しています。従来の水平翼を備えたグリルは表面積が13%拡張し、835PSのエンジンの冷却を進めます。新しいアウトバーンバンパーベントはノーズ周りの空気を導き、冷却用の空気をフロントホイールアーチに誘導してブレーキの冷却を早めます。

マトリックスLEDヘッドライトには、一体型のデイトタイムランニングライト（DRL）と共に新しいライトシグネチャーを表現しています。ライトには、ヘッドライト内部にアストンマーティンのワードマークなどの細かいディテールを施し、特徴的なサイド・ストレーキには赤い「V12」のモチーフをあしらっています。フレームレス・ドアミラーは、より小型で滑らかなデザインでVanquish Volanteの空力特性を向上させると同時に、電波を受信して飛び出す格納式ドアハンドルでVanquish Volanteのサイドプロファイルの流れるようなラインを維持しています。

アストンマーティンのエグゼクティブ・バイスプレジデント兼チーフ・クリエイティブ・オフィサーであるマレク・ライヒマンは次のように述べています。「真のフラッグシップのヴォランテを創り上げる機会は何にもありません。アストンマーティンブランドの核となるDNAを維持することは常に課題としてあり、優れたプロポーションとドラマ性を実現するためにはクーペとともにヴォランテを創造することが極めて重要でした。Vanquish Volanteはまさにその点を体現していて、アストンマーティンの名を冠したクルマの中で最も息をのむほど美しいクルマのひとつであるだけでなく、クーペと同様、予想を遥かに超えフラッグシップ・モデルの絶大なパフォーマンスと意図された指名を捉えています。高貴な美しさと道路上での存在感を真に体現する傑出したインテリアデザインで、Volanteはルーフシステムのエレガントなパッケージングに一切の妥協を許さないつくりとなっています。アストンマーティンのデザイン部門

とエンジニアリング部門のコラボレーションにより、当社のコアモデル・ポートフォリオの中で至宝ともいべきモデルが誕生しました。」

Vanquish Volanteの新しく開発したステンレススチール製エキゾーストシステムは独特な形状の、見事なクアッドテールパイプを配置しています。ルーフを格納すると、乗員をVanquishの血統の代名詞である増幅する周波数と共鳴するV12の咆哮が包みます。Vanquish Volanteでは究極のサウンドを求める人のために、オプションでチタン製エキゾーストシステムもご用意しています。このオプションでは、小型マフラーでより明確で大音量の魅力的なV12サウンドを実現しながら、10.5kgの軽量化を果たしています。

### デザイン - インテリア

明確な意図で2シーター構成として設計したVanquish Volanteには、精密なクラフツマンシップが貫かれており、格納式ルーフを装備することで、ドライバーと乗員は比類ない感覚を体験することができます。

Vanquish Volanteには、Vanquish Coupeに導入された特注のインテリア・レイアウトを採用、アストンマーティンの次世代モデルすべてに見られる新しいインテリア・アーキテクチャーを継承しています。センターコンソールを下げただけでもキャビンの幅が広く感じられ、ルーフを格納するとCoupe特有の空間感覚が維持でき、オープンエア・ドライビングの究極のラグジュアリー感を味わうことができます。

最新のタッチスクリーンテクノロジーと触感重視のリアルなスイッチギアが完璧に融合したVanquish Volanteは、キャビン内の究極のラグジュアリー感と操作系との直感的なインタラクションが同時に楽しめます。アストンマーティンの次世代インフォテインメントでは、10.25インチのデジタルTFTドライバー・ディスプレイは情報を最大限わかりやすくお届けする設計で、ディスプレイのカスタム設定も可能です。一方、オンライン接続機能を備えた一体型10.25インチのピュアブラック・タッチスクリーンには、静電容量方式によるシングルフィンガーおよびマルチフィンガーのジェスチャーコントロール技術を備えています。

Vanquish Volanteにふさわしく、オーディオ機器はアストンマーティンのオーディオ・パートナーであるBowers & Wilkinsの最高のシステムを標準装備しています。Vanquish Volante専用チューニングされ、シームレスに統合した15個のスピーカーとダブルアンプのサラウンドサウンドシステムが聴く人の心を虜にするサウンド体験を実現します。

ローレット加工のロータリー・ダイヤルは照光式ストップ/スタート・ボタンの周囲に配置、その横にはシャシー、ESP、エグゾースト、パーク・ディスタンス・コントロール用のプッシュボタンスイッチが並びます。ドライバーは道路から目を離すことなく使用頻度の高いコントロ

ールが操作できます。Vanquish Volanteには、先進運転支援システム（ADAS）制御ユニットに直接アクセスする新しいショートカットボタンとともに、ルーフ操作スイッチも装備しています。

ドライバーと乗員の快適性を常に重視するVanquish Volanteには、スポーツプラスシートを標準装備、オプションとしてカーボンファイバー製のパフォーマンスシートをご用意しています。シートポジショニング機能は身長差を問わずどのドライバーにも対応でき、スポーツ感覚とダイナミックなドライビングに最適なポジションを作り出します。低いセンターコンソールとスカラップ型のドアパネルによって上半身周りに最適なスペースが確保され、激しい運転や操作の動きでも、ドライバーは腕を自由に動かすことができます。

Vanquish Volanteのリアキャビンも同様にラグジュアリーを意識したデザインで、ディテールと贅沢な仕上げもインテリアの隅々まで入念に同じレベルの高さで施されています。彫刻を施したリアクロスブレースは、美しいサドルレザーのラゲージセット（アクセサリとして購入可能です）専用にした収納空間を明確に区分します。フラッグシップ・モデルらしく、ホイールリムやブレーキキャリパーからカーペットやインテリアトリムに至るまで、エクステリアとインテリアの組み合わせは多岐にわたります。個別にカスタマイズをご希望の場合は、アストンマーティンのカスタマイズ・サービスQ by Aston Martinまでご相談ください。ここでは、最も熟練した経験豊かでクリエイティブなデザイナーがお客様と直接打ち合わせを行い、完全オーダーメイドでVanquish Volanteへのご要望をお伺いします。

ヘッドレストにお名前やイニシャルを刺繍するといった小さな工夫から、本格的なエンジニアリング、そして真のワンオフを生み出す完全オーダーメイドのコンポーネントの製造まで、Q by Aston Martinは、アストンマーティンのフラッグシップ・モデルという希少な限定生産の世界においても、お客様が唯一無二の特別な1台を心ゆくまで創造できるようサポートいたします。

センセーショナルな新型Vanquish Volanteは、2025年第3四半期に最初の納車を予定、現在、台数限定でご注文をお受けしています。 All will be Vanquished.

こちらのプレスリリースに関する素材は、下記よりダウンロード可能です。

<https://we.tl/t-qoqKIZGvOA>

## アストンマーティン Volante の 60 年

Vanquish Volante は、アストンマーティン誕生以来 60 年という半世紀以上にわたるモデルラインの集大成です。アストンマーティンが初めて Volante の名を冠した 1965 年に Short Chassis Volante というモデルが製作されました。このクルマは、その先代モデルのドロップヘッドクーペの DB5 と後継モデルの DB6 Volante のデザイン要素を併せ持っています。完璧

なまでに美しいこのクルマは、その後のアストンマーティン **Volante** の方向性を決定づけました。また、1年間の生産台数はわずか 37 台であったことから、アストンマーティン量産モデルの中でも最も生産台数の少ないモデルの 1 つとして知られています。

それ以来、**Vantage** という名称は現在に至るまで変わらず使用されています。おそらく最も有名なのは、チャールズ 3 世国王陛下が所有し、後にウィリアム王子に引き継がれた **DB6 MKII Vantage Volante** でしょう。ウィリアム王子とキャサリン妃の婚礼パレードで、結婚式が行われたバッキンガム宮殿からセント・ジェームズ宮殿までを王子自らが運転したクルマでもあります。チャールズ国王は過去に、1986 年式の **V8 Vantage Volante** を継承したほか、6.3 リッターV8 エンジンと 5 速マニュアルギアボックスを搭載したユニークな 1994 年式の **Virage Volante** も愛用していました。

1987 年の映画『リビング・デイライツ』の中では、ジェームズ・ボンドがさまざまなガジェットを搭載させた **V8 Volante** を運転するシーンが印象的です。このクルマは、当時のアストンマーティン会長ヴィクター・ガントレットのプライベートカーとしても使用されていました。**V8 Volante** は映画の中で「冬仕様」のクーペに改造され、シーンのいたるところでその姿を現します。クイーンのドラマー、ロジャー・テイラー（1975 年リリースの「I'm in love with my car」を作詞・作曲）も 1979 年シリーズ I の **Volante** を所有していました。

現在、**DB12 Volante** と **Vanquish Volante** にはいずれも **Volante** の名称が付されています。一方で、ゲイドン工場で製造されたオープンモデルの **V8** および **V12 Vantage** はその名を冠したことはなく、正確にはロードスターと呼びます。

### アストンマーティン・ラゴндаについて

アストンマーティンは、世界でもっとも熱望されるウルトラ・ラグジュアリー・ブリティッシュ・ブランドとなることを目指し、人々を魅了してやまないハイパフォーマンス・カーを作っています。

ライオネル・マーティンとロバート・バンフォードによって1913年に設立されたアストンマーティンは、スタイル、ラグジュアリー、パフォーマンス、エクスクルーシブネスを象徴するグローバル・ブランドとして知られています。アストンマーティンは、最先端のテクノロジー、卓越したクラフトマンシップ、美しいスタイルを融合させ、**Vantage**、**DB12**、**Vanquish**、**DBX707**に加え、同社初のハイパーカーである**Valkyrie**など、高い評価を得ている一連のラグジュアリー・モデルを生み出しています。また、**Racing. Green.**サステナビリティ戦略に沿って、アストンマーティンは2025年から2030年にかけて、**PHEV**と**BEV**を含むブレンドドライブトレインアプローチによる内燃エンジンの代替システムの開発にも取り組んでおり、電気自動車のスポーツカーと**SUV**のラインナップを持つという明確なプランを描いています。

英国のゲイドンを拠点とするアストンマーティン・ラゴндаは、ラグジュアリー・カーを設計、

製造、輸出し、世界で50以上の国で販売しています。スポーツカー・ラインナップはゲイドンで製造されており、ラグジュアリーSUVのDBXは、ウェールズのセント・アサンで製造されています。同社は、2030年までに製造施設をネットゼロにする目標を掲げています。

ラゴндаは1899年に設立され、1947年にアストンマーティンとともに故デビッド・ブラウン卿に買収され、現在は「Aston Martin Lagonda Global Holdings plc」としてロンドン証券取引所に上場しています。

2020年には、ローレンス・ストロールが同社のエグゼクティブ・チェアマンに就任し、未来の重要な分野に対して新たな投資を行うと同時に、アストンマーティン・アラムコ・フォーミュラ1®チームとともにモータースポーツの頂点へと復帰し、英国を象徴するブランドとして新たな時代へと乗り出しています。



<https://media.astonmartin.com/>

メディア問い合わせ先：

Aston Martin Lagonda  
Marketing & Communications Manager-Japan  
松永 悠理

[yuri.matsunaga@astonmartin.com](mailto:yuri.matsunaga@astonmartin.com)

株式会社ブレインズ・カンパニー

加藤 七瀬：070-7611-6970 中井 美里：070-2238-5865

[astonmartin-pr@pibc.co.jp](mailto:astonmartin-pr@pibc.co.jp)